

一患者さんは自分の家族一 そう考えると自然と力が入ります

整形外科

かの たけし 山陽病院 副院長 狩野 岳士

専門分野 整形外科、リハビリテーション科
外傷・関節外科

資格 日本整形外科学会 専門医



医師を目指したきっかけは何ですか？

小学生の時に野口英世の伝記を読み、感銘を受けました。野口英世は幼い頃、不慮の事故で左手に障害を負い、いじめを受けました。しかし、手術で手が動くようになり、後に学者として素晴らしい研究をしました。困っている人の人生を良い方向へ変えられる職業だと思い、憧れを持ちました。近所の開業医の先生の家が豪邸だった、というのも実は一つのきっかけです。(笑)

整形外科を選ばれた理由を教えてください。

整形外科は、結果がわかりやすい診療科です。患者さんが元気になったのがわかりやすく、一緒に喜ぶことができます。逆に、失敗もわかりやすいのでその分プレッシャーもありますが、自分の性格には合っていると思います。

当院の整形外科へはどんな患者さんが来られますか？

当院は、骨折やつき指をはじめとした外傷系、関節の痛みなど、一般的な整形外科の疾患に対応できます。患者さんには高齢者や透析をされている方が多く、みなさん骨がもろくなっています。例えば骨折の場合、高齢者の骨は粉碎していることが多く、元通りに組むと不安定になるので、骨盤から骨を削って移植したり、人工の骨を足したりして形を維持します。治療方法はいろいろありますので、日々自分なりに研究し考えています。

仕事をしていて嬉しいことは何ですか？

体調が良かった時の患者さんの笑顔が一番です。また、スタッフも一緒に喜んでる姿を見るのが嬉しいです。医師は1人では何もできないと思っています。指示を出し周りが動いてくれて初めて仕事が成り立ちます。患者さんが良くなるにはスタッフの協力が欠かせません。常に楽しい笑顔で仕事をしてほしいです。

患者さんにお伝えしたいことがありますか？

外来予約をたくさんいただいているため、新規の患者さんにはお待ちいただいご迷惑をおかけすることがあります。限られた時間の中で、できることを精いっぱいさせていただきます。

診療で大切にされていることはありますか？

患者さんが自分の家族だったらどう治療するかを考え、診療しています。自分の手に負えないと判断したら、無理をせず、信頼している先生をご紹介させていただくこともあります。患者さんが元気になることを最優先にしています。

リハビリへの思いを教えてください。

同じ手術でも、その後のリハビリによって良くも悪くも変わります。その点で、リハビリスタッフにいつも助けられています。当院のリハビリには若いスタッフが多いですが、勉強家で、私への質問も多く、向上心が高いです。手術後の患者さんを安心して任せることができます。

～狩野副院長にプライベートなことも伺いました～

出身と、子どもの頃の思い出を教えてください。

兵庫県です。親が転勤族だったので、福岡、名古屋、三重、大阪など転々としてきました。短い期間での転校で友達づくりは大変でしたが、自分から積極的に話しかけ、楽しく過ごしました。そのため、今でも初対面の人と話すことに抵抗はありません。

先生の趣味について教えてください。

釣りです！釣りは小学1年生の時、父親に教わりました。釣った魚は自分で捌きます。楽しい上においしく食べられ、本当にいい趣味を持ったと思います。

当院では釣り部のリーダーとしても活躍されています。

悩んだり辛い思いをしたりしている人の気分転換の場として、悩み事の相談があれば、釣りをしながら聴けたらと思っています。でも、大体みんな釣りに没頭して無口になりますが、魚釣りの楽しさを多くの人に知ってほしいので、スタッフには、どんどん参加してほしいです。やり方は教えますので初心者大歓迎です！

